

平成20年度横浜市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 平成20年度横浜市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

- (1) 給 水 戸 数 1,746,000 戸
- (2) 年間総給水量 438,730,000 m³
- (3) 1日平均給水量 1,202,000 m³

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 水 道 事 業 収 益	89,911,326 千円
第1項 営 業 収 益	84,812,820 千円
第2項 営 業 外 収 益	4,993,474 千円
第3項 特 別 利 益	105,032 千円
支 出	
第1款 水 道 事 業 費 用	84,175,280 千円
第1項 営 業 費 用	77,108,669 千円
第2項 営 業 外 費 用	6,981,611 千円
第3項 特 別 損 失	35,000 千円
第4項 予 備 費	50,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める (資本的

収入額が資本的支出額に対し不足する額 26,852,390 千円は、当年度分損益勘定留保資金等 20,657,484 千円、建設改良積立金取崩額 192,417 千円、減債積立金取崩額 240,000 千円及び繰越利益剰余金処分額 5,762,489 千円で補てんするものとする。)

収 入

第1款 水道事業資本的収入	15,396,029 千円
第1項 企 業 債	12,954,000 千円
第2項 出 資 金	1,146,000 千円
第3項 補 助 金	410,439 千円
第4項 分担金及び負担金	880,222 千円
第5項 固定資産売却代金	5,368 千円

支 出

第1款 水道事業資本的支出	42,248,419 千円
第1項 建設改良費	28,026,143 千円
第2項 企業債償還金	13,329,656 千円
第3項 投 資	821,006 千円
第4項 国庫補助金返還金	41,614 千円
第5項 予 備 費	30,000 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
水道施設整備工事	平成21年度から 平成22年度まで	6,443,000 千円
水道メーター検針業務委託	平成21年度から 平成23年度まで	756,000 千円

水道メーター検針業務及び
料金整理業務委託 平成21年度から
平成25年度まで 5,922,000 千円

川井浄水場整備及び
施設維持管理業務 平成21年度から
平成45年度まで 30,000,000 千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

(1) 起債の目的 配水管整備事業費及び基幹施設整備事業費にあてるため。

(2) 限度額 9,916,000 千円

配水管整備事業費充当企業債 4,113,000 千円

基幹施設整備事業費充当企業債 5,803,000 千円

(3) 起債の方法 ア 市債証券の発行または普通貸借の方法による。
イ 起債の時期は平成20事業年度。ただし、その全部または一部を翌年度以後に繰り越し、起債することができる。

(4) 利率 年5.0%以内。

(5) 償還の方法 ア 起債年度の翌年度から据置期間を含め、30年以内に償還する。ただし、本期間中、未償還額の範囲内において借り換えることができる。

イ 政府資金を借り入れる場合は、その融通条件による。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び

営業外費用の間の流用。

(他会計からの補助金)

第8条 事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、
423,997千円である。

(利益剰余金の処分)

第9条 繰越利益剰余金のうち5,762,489千円は、次のとおり処分する
ものと定める。

建設改良積立金 5,762,489千円

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、1,500,000千円と定める。

平成20年2月13日提出

横浜市長 中 田 宏